

据置型コンポスト容器 使い方マニュアル

据置型コンポスト容器【補助対象】(サイズ: 100ℓ.130ℓ.150ℓ.160ℓ.190ℓ.200ℓ)

大きな筒状の容器で、生ごみから堆肥を作るコンポスト容器です。お庭や畠などに設置して、生ごみを土・落ち葉などと混ぜながら生ごみを処理することができます。手間は余りかかりませんが、土地が必要なことや、悪臭・虫の発生はあまり防げないことが問題となります。また密閉型コンポスト容器で作った「ぽかしあえ」を投入すると更に早く分解することができます。

【使い方】

- ① 庭や畠などの土の上に容器を設置する。
- ② 底に落ち葉や土などを敷く。
- ③ 生ごみを投入し、同量の落ち葉や土を混ぜ込み水分を調整する。
- ④ 混ぜたものの上に土をかぶせる。(虫が寄らないように)
- ⑤ ふたを閉じる。(ふたは、ネットを載せ角材などで隙間を作ったうえですると良い)
- ⑥ しばらく生ごみを投入しない場合は2~3日後に中身を混ぜる。
- ⑦ 生ごみが出るたびに③~⑤を繰り返す。
- ⑧ 容器が一杯になったら中身を取り出し、土をひっくり返し(切り返し)熟成させる。
・熟成期間は夏で1ヶ月、冬で2~3ヶ月程度。

【利点】

- ・あまり手間をかけずに堆肥を作ることができる。
- ・ランニングコストがほとんどかかりません。

【欠点】

- ・設置に、ある程度の敷地が必要。
- ・虫・悪臭の発生を防ぎづらい。

